

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	伊藤 聡子	学校名	海部郡大治町立大治中学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	1年生（336名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年10月～12月（5時間）		

## 【実施概要】

1. 単元名：海との共存 ～海の生きものたちを絶滅の危機から救え！～					
2. 実践する教科・領域  総合的な学習の時間	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標 日本の課題の一つである海洋汚染の原因について知るとともに、海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするにはどうするとよいのかを考え、海を守るために自分にできることを見つけようとする。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	世界や日本が抱えている課題に気づくとともに、海洋汚染の原因について理解している。			
	②思考力、判断力、表現力等	海の生きものが困っていることを知るとともに、海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためにはどうするとよいのかを考えている。			
	③学びに向かう力	仲間の考えを受け入れながら課題解決に向けて学び合うことで、自分の生活を見直し、海を守るために自分にできることを見つけようとしている。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>新学習指導要領には、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられ、各教科においても、SDGsに関連する内容が盛り込まれている。そこで、総合的な学習の時間を通して、SDGsについての学びを深め、持続可能な社会の創り手となる第一歩を踏み出すことのできる生徒の育成を目指していきたい。本校の1年生は、学年目標を「夢のつながり～気づく～」とし、1学期にはSDGsに関連させた国際理解の学習を行ってきた。その中で、生徒が最も興味を示したものはSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」だった。他にも、現在の世界や日本のSDGsの達成状況を知りたいという意見も多くあった。したがって、2学期は世界と日本のSDGsの達成状況から、今、世界や日本が抱えている課題に気づかせ、日本の課題の一つでもあるSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を切り口に、海との共存について考えさせていきたい。</p> <p>【生徒観】</p> <p>本校は3つの小学校が集まっており、入学時のSDGsの認知度は各校でかなりの差があった。そのため、1学期には「知ろう！SDGs」というテーマで、世界や日本の様々な課題を知るとともに、どの課題がSDGsの1～17の目標と関わっているのかを考えさせるような実践を行ってきた。生徒たちは、実践を重ねるごとに自分たちの生活を振り返ったり、自分たちにできることを見つけようとしたりするなど、SDGsの達成を目指している2030年まで10年を切った今、自分たちにできることに取り組んでいかなければいけないという危機感をもつようになった。</p>				

<p><b>【教材観】</b>          これまでの実践の中で、生徒が最も興味を示したSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を取り上げることで、興味・関心をもって本単元の学習に取り組むことができると考える。本単元の導入では、世界と日本の達成できていない目標＝マイナス面を見ることで、それぞれの国と否定的な出会いにならないよう、SDGs達成度ランキングとその国を表す写真を結び付け、それぞれの国を肯定的に受け入れられるように工夫する。その上で、4か国のSDGs達成度ランキングから、世界と日本が抱えている課題に気づかせていきたい。その中から、日本の課題の一つでもあり、生徒が最も興味を示したのものであるSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」についての学びを深めていくことができるようにする。海の豊かさを守るために自分たちにできることを見つけさせる手立てとして、絶滅の危機が心配されている海の生きものを取り上げ、「もし自分がこの生きものだったら…」と海の生きものの思いに寄り添いながらロールプレイを行うことで、地球の環境問題をジブンゴト化できるのではないかと考えている。そして、一人ひとりが海を守るためにできることを見つけることが、持続可能な社会の創り手の第一歩につながると考える。</p> <p><b>【指導観】</b>          世界の課題をジブンゴト化するためには、知識を得るだけではなく、行動へとつながる気づきのある学びが大切であると考えている。そこで、本単元では、知識を一方向的に教えるのではなく、生徒が自ら考え、気づくことができるように様々な参加型の学習を取り入れていく。その中でも、各自が感じたことや考えたことなどを再確認する「振り返り」の時間を大切にしていきたい。学んだことや体験したことを振り返ることで、仲間に自分の考えを伝えることのできる気づきとして、課題をより意識化することができると考えている。そして、仲間の考えや自分と異なる考えを受け入れ、互いのよさを生かしながら課題解決に向けての学び合いを進めていきたい。</p>			
7. 単元計画（全5時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本のSDGsの達成状況から、今、世界と日本が抱えている課題に気づく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4か国のSDGs達成度ランキングとそれぞれの国の写真（街や学校の様子、食事など）を組み合わせる。 <b>【フォトランゲージ】</b></li> <li>写真をヒントにしながらか国がどこの国であるかを考える。</li> <li>それぞれの国のランキングを知る。</li> <li>先進国（フィンランド・日本）と途上国（パラグアイ・ルワンダ）の課題を書き出す。<b>【対比表】</b></li> <li>書き出したものの中から日本の課題に△印を付ける。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4か国のSDGs達成度ランキング2021年〔フィンランド、日本、パラグアイ、ルワンダ〕</li> <li>フィンランド、日本、パラグアイ、ルワンダの写真</li> <li>JICA映像資料「ルワンダってどんな国？」（静止画にして活用）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日使っているプラスチックが地球の環境にどんな影響を及ぼしているのかを考える。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「三択クイズ～数字で見るプラスチックごみ問題～」をする。<b>【クイズ】</b></li> <li>パワーポイントでクイズの答え合わせをする。</li> <li>プラスチックごみをポイ捨てすると、どんなことが起こるのかを考える。 <b>【派生図】</b></li> <li>JICA映像資料「海をわたるプラスチックごみ」を見る。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三択クイズ(8問)</li> <li>三択クイズの答え&amp;解説</li> <li>JICA映像資料「海をわたるプラスチックごみ」</li> </ul>

		⑤ 映像を見て追加するものがあれば、③の派生図に付け加える。 ⑥ 海洋汚染が広がることで困ることを書き出す。【リスト】	
3 ・ 4  本時	・ 絶滅が心配されている海の生きものが困っていることを知るとともに、海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためにはどうするとよいのかを考える。	① 海で暮らす絶滅危惧種の写真を見て、共通することを考える。 ② 絶滅危惧種と絶滅の原因について知る。 ③ ロールプレイをする。 〔海の生きもの、人間、司会・記録〕 ④ 互いに暮らしやすい世界にするための方法をグループで話し合う。 ⑤ 全体で共有する。	・ 海で暮らす絶滅危惧種の写真 ・ 絶滅危惧種と絶滅の原因の説明のパワーポイント ・ 海の生きものの困っていることが書かれたプリント
5	・ 世界各国で広がる持続可能な海のためのアクションを知り、海を守るために自分にできることを見つける。	① 世界各国の持続可能な海のためのアクションを知る。【ジグソー法】 ② 海を守るためにできることを「国・企業」「仲間」「自分」の3つの視点から考える。【行動計画づくり】 ③ 海を守るために、自分にできることを1つ選んで宣言する。	・ 世界各国の持続可能な海のためのアクションが書かれたプリント

8. 本時の展開

本時のねらい：絶滅が心配されている海の生きものが困っていることを知るとともに、海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためにはどうするとよいのかを考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
第3時 導入 (10分)	1. 海で暮らす絶滅危惧種の写真を見て、共通することを考える。 「これらの写真の共通していることは何だと思いますか？」 ・ 水族館で見たことがある ・ 海で暮らしている生きもの ・ 数が少なくなっている生きもの 「これらは、絶滅危惧種と言われ、絶滅が心配されている海の生きものです。」 2. 絶滅危惧種と絶滅の原因について知る。 「ほ乳類では何種類に1種類が絶滅危惧種と言われていると思いますか。」 ・ 15種類に1種類 ・ 7～8種類に1種類 「絶滅の原因は何だと思いますか？」 ・ 地球温暖化の影響 ・ 環境汚染 3. 本時のめあてを確認する。	・ 「展開」で扱う絶滅危惧種を入れ、興味をもたせる。  ・ 絶滅危惧種とは何か、絶滅の原因は何かを一方的に説明するのではなく、問いかけながら進めることで、生徒に考えさせるようにする。 ・ 絶滅の原因は何かの知識を得た上で、ロールプレイを行わせる。	・ 海で暮らす絶滅危惧種の写真 〔オサガメ・ホッキョクグマ・フンボルトペンギン・ラッコ・ジンベエザメ・サンゴの6種類〕  ・ 絶滅危惧種と絶滅の原因の説明のパワーポイント
展開 (35分)	4. 絶滅が心配されている海の生きものが困っていることを知り、互いに暮らしやすい世界にするためにはどうするとよいのかを話し合う。	・ 5～6人のグループで活動させる。	

海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためには、どうするとよいのかを考えよう。

	<p>(1) ロールプレイの進め方やルールを確認する。</p> <p>(2) ロールプレイの準備をする。</p> <p>① 役割を決める。 〔海の生きもの2人、人間2人、司会・記録1～2人〕</p> <p>② 海の生きもの困っていることを知り、自分の役割のはじめの一言をまとめる。 「海の生きものは人間に、人間は海の生きものに言いたいことのはじめの一言としてまとめましょう。」</p> <p>③ 相手に聞きたいことなどを書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間がごみを海に捨てないようにする対策はありますか？</li> <li>・ オサガメの子孫を残すために人間ができることはありませんか？</li> </ul> <p>(3) ロールプレイをする。 「役になりきって、海の生きもの→人間の順番で、はじめの一言を言ってから話し合いを始めましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割の写真やイラストを準備するなど、役になりやすい雰囲気をつくる。</li> <li>・ 海の生きものは、プリントに書かれている困っていることをもとに、はじめの一言を考えさせる。</li> <li>・ 人間は、海の生きものが困っていることを踏まえた上で、人間の生活を守るためのことも考えながらはじめの一言を考えさせる。</li> <li>・ 相手に聞きたいこと、相手に聞かれると思うことの答えを準備させる。</li> <li>・ 司会は話し合いが進まない時のために、海の生きものと人間に聞きたいことなどの準備をさせておく。</li> <li>・ 相手を攻めるのではなく、互いに住みやすい世界を作るためにどうするとよいのかを意識しながら話し合いを進めるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割の写真やイラスト 〔海の生きもの6種類と人間〕</li> <li>・ 海の生きもの困っていることが書かれたプリント 〔6種類〕</li> </ul>
<p>まとめ (5分)</p>	<p><b>オサガメからの一言</b></p> <p>人間は魚と一緒に、無関係の私たちオサガメまで網にかけて命をうばいます。さらに、人間がたくさんのごみを海に捨てるので、私たちの主食であるクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまうことがあります。また、海だけでなく、産卵のための砂浜もうばわれました。私たちが卵を産んでも、野生化した動物が掘り返して食べてしまうので、なかなか子孫が残せません。</p> <p><b>人間からの一言</b></p> <p>漁のときは、オサガメを獲るつもりはないのに、どうしても入ってしまいます。網にオサガメが入ってしまったときは、すぐに海に戻すようにしています。ごみも少しずつですが、海に捨てることはやめ、海岸の清掃も始めています。産卵のための砂浜をうばうことのないよう、開発場所も考えていきたいと思っています。そして、野生動物が砂浜に入らないように、柵を設けるなどの工夫もしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の役割について、それ以外についての2つの視点で振り返りをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りシート</li> </ul>

第4時 導入 (10分)	<p>6. 前時の学びの振り返りをする。 「前回の学習で、特に印象に残っていることを1つ選び、グループ内で伝え合しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間と他の生きものが、互いに助け合って生活していかなければいけない。</li> <li>海の生きものを救うためには、人間の行動を変えることが大事。</li> <li>海の生態系が壊れてしまうと、魚が食べられなくなるなど、人間の生活にも支障が出てきてしまう。</li> </ul> <p>「グループ内で出された特に印象に残っていることを全体で共有しましょう。」</p> <p>「前回のロールプレイを通して、どのグループの海の生きものも困っていることがあると分かりましたね。みんなが海の生きものだったらどうしたいですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住むところや食べるものに困らない海にしたい。</li> <li>安心して生活できる海の環境にしたい。</li> </ul> <p>「海の生きものが困らないようにするためには、誰の協力が必要ですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たち人間。</li> </ul> <p>「海の生きものが安心して生活するためには、私たち人間の協力が必要です。では、私たちにできることはどんなことでしょうか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りシートの中から1つ選ばせる。</li> <li>グループ内で出されたことをホワイトボードに書き出させる。</li> <li>各グループのホワイトボードを黒板に貼り、視覚的に全体で共有できるようにする。</li> <li>もし自分が海の生きものだったら…と海の生きものの思いに寄り添って考えさせる。</li> <li>海を汚すのも人間であること、海をきれいにすることも人間であることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りシート</li> <li>ホワイトボード</li> <li>ペン</li> </ul>
展開 (10分)	<p>7. 海の生きもののために、私たち人間にできることを考える。 『〇〇と人間の仲良し大作戦!』として、互いに暮らしやすい世界にするために大切なことを5つまとめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビニール袋のごみをできる限り出さないように、買い物するときにはビニール袋をもらわない。</li> <li>漁をするときは、むやみに捕らないように計画的に捕るようにする。</li> <li>二酸化炭素の排出量を減らすために、エアコンの設定温度に気をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに暮らしやすい世界にするために大切なことを、個人で思い付く限り付箋に書き出させる。</li> <li>書き出した付箋の中から、グループで話し合っただけで最も大切なことを5つ選ぶようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付箋</li> <li>ペン</li> <li>半模造紙</li> </ul>
(25分)	<p>8. 6グループの考えを全体で共有する。 「各グループのロールプレイと『〇〇と人間の仲良し大作戦!』を全体で共有しましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器を活用し、海の生きものが困っていることが分かるようにする。</li> </ul>	
まとめ (5分)	<p>9. 本時の振り返りをする。 「本時の活動を通して分かったことや感じたことを振り返りシートに記入し、グループ内で伝え合しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活を見直し、自分にできることに取り組むことの大切さを知った。</li> <li>自分たちの意識を少し変えるだけで、できることがあることに気づいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの生きものの場合も、私たち人間にできることがあることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> </ul>

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）	絶滅が心配されている海の生きものが困っていることを踏まえた上で、海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためにはどうするとよいのかを考えている。（観察、振り返りシート）
10. 学習方法および外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月に実施予定の校外学習でJICA 中部なごや地球ひろばを訪問し、SDGs や国際理解への学びを深める場を設ける。</li> <li>本単元を通して、知識を一方向的に教えるのではなく、生徒が自ら考え、気づくことができるように様々な参加型の学習を取り入れていく。特に、ロールプレイでは、「もし自分がこの生きものだったら…」と絶滅が心配されている海の生きものの思い、人間の生活を守るための人間の思いに寄り添うことで、互いに暮らしやすい世界について考えさせていく。</li> </ul>
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年で共通理解を図ながら進めていけるように、毎時間、学習指導案を作成する。</li> <li>校内での実践が広がるように、汎用性のあるプログラムを作成したり、誰もが実践できるように校内に学習指導案やプリント等のデータを残したりしていく。</li> <li>学校訪問で本校の先生や教育委員会の方に見ていただいたり、授業公開で保護者の方に見ていただいたりすることで、国際理解教育への取り組みを広めていく。</li> </ul>

## 【自己評価】

12. 苦労した点	<b>【本時（第3・4時）について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時は時間の都合上、海の生きものが困っていることを教師側が調べて簡潔にまとめたプリントを準備したので、資料を集めることが一番大変だった。</li> <li>海の生きものが困っていることをジブンゴトとして考えることができるように、困っていることの中に衣食住などの身近に感じることで資料を探すことに苦労した。</li> <li>絶滅危惧種や環境問題に対する知識を持っている生徒がいるグループではロールプレイが盛り上がったが、そうでないグループではロールプレイがなかなか進まなかった。</li> </ul>
13. 改善点	<b>【本時（第3・4時）について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイをする時には、海の生きものが困っていることを生徒自身で調べた方が説得力が出ると思うので、調べる時間を設けた方がよいと感じた。</li> <li>海の生きものはじめの一言については、プリントに書かれていることを参考にしながら考えることができた。しかし、人間のはじめの一言については、考えるのに困っていたので、それぞれの生きものの困っていることの一つ一つに対してどんな対策があるのかを考えさせるとよい。 例：オサガメ 主食であるクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまう。 →ごみを海に捨てない、海岸の清掃を行う。 産卵のための砂浜が奪われる。 →開発場所を考えたり、柵を設置したりするなど、産卵場所を確保する。</li> <li>「〇〇と人間の仲よし大作戦！」を考えさせる時には、地球温暖化を防止するための方法などの知識を得た上で考えさせた方が、具体的な作戦が考えられる。</li> </ul>
14. 成果が出た点	<b>【本時（第3・4時）について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>海の生きものと人間のそれぞれの立場でロールプレイを行うことで、海の生きものが困っていることを自分のことのように考えることができた。さらに、人間がすべての原因を作っていることに気づいたり、人間が問題に対して努力することで解決できることがたくさんあることに気づいたりすることができた。</li> <li>「海の生きものにできることは実践していくと宣言したので、自分にできることを見つけて実践していきたい」という生徒の振り返りから、海を守るために自分にできることを実践するための意欲につながった。</li> </ul>

15. 学びの軌跡

(生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

【本時について (第3時: 互いに暮らしやすい世界にするために①)】

ロールプレイの様子 (ホッキョクグマについて考えたグループ)



生活する場所やエサがなくなるのが不安なので、エサとなるアザラシや魚をもっと増やしてほしいです。

私たち人間は海を汚さないように努力しようとしています。ごみを捨てないようにしたり、リサイクルをして物を無駄にしないようにしたりしていこうと思っています。



ホッキョクグマが北極海で生活する上で、一番不安に思っていることは何ですか。



氷がすべて溶けてしまうと、自分たちの住む場所がなくなってしまうのではないかと不安です。

地球温暖化を防ぐために、二酸化炭素やマイクロプラスチックを減らしたり、エアコンの使用を減らしたりすることはできないのですか。

地球温暖化を防止するために、ごみのポイ捨てなどをやめたり、3Rを積極的に行ったりしようと思っていますが、私たちだって生きているので、仕方がないところもあります。



生徒の学びや変容 (振り返りより)

- ・ フンボルトペンギンが食べている魚を獲るのをやめて別の魚を獲ることにしても、その別の魚を食べている生きものがまた困るので難しい問題だと思った。
- ・ 人間が他の生きもののことを考えないで、自分たちのことばかり考えていることに気がついた。確かに生きものの意見も正しいとは思ったが、生きていくためには、みんなの意見を尊重する必要があると知った。
- ・ 人間も人間で大変なことがあり、何かをなしにしたら別のことが問題になると知った。
- ・ ロールプレイをしてみて、だいたいのが人間がオサガメのことを考えずにしたことで起きた問題なので、人間がオサガメのことを思いやるのが大事だと思った。
- ・ ロールプレイで人間にできることはするっていったので、自分にもできることをしようと思った。

**【本時について（第4時：互いに暮らしやすい世界にするために②）】**  
**ロールプレイと「〇〇と人間の仲良し大作戦！」を全体で共有している様子**



**サンゴと人間の仲良し大作戦!** 

- 1 海をきれいにするために 週1でそうじをする!!
- 2 ポイ捨てにかんする法律をつくる。
- 3 空気を汚さない
- 4 サンゴの事情をみんなに知ってもらう
- 5 サンゴを取らない

**他に考えられた仲良し大作戦!**

- ・ 防犯カメラなどを取り付け、ゴミを捨てた人には罰金。
- ・ 汚水を流すときには、きれいにしてから海に流す。
- ・ 海に入るための入場料をとる。
- ・ ビニール袋の値段（1枚 100円）を上げる。
- ・ ニュースで危機感を訴え、たくさんの人に現状を知ってもらう。
- ・ 毛皮を獲ることを禁止にして、人工的に作ったものしか売らない。
- ・ 二酸化炭素を排出するものを作った場合は罰金。

**生徒の学びや変容（振り返りより）**

- ・ 他の生きものが困っていることを聞くことができてよかった。そして、すべて人間が原因だということが分かった。
- ・ 人間のせいでいろいろな生きものが苦勞していることが分かったので、これからは人間ばかりが得をするようなことはせず、それぞれが共存できるような世界にしていきたい。
- ・ 困っている生きものを救うために、人間にもいろいろなことができることを知った。
- ・ 海の生きものと人間が仲良く過ごすためには、少しは人間にも縛りが必要なのだと思った。人間が少しだけ我慢をして、共存できる未来にしていきたい。

16. 授業者による  
自由記述

**【第1時（世界と日本の課題は?）】**  
**4か国のSDGs達成度ランキングと国の写真の組み合わせ（ロイロノートより）**

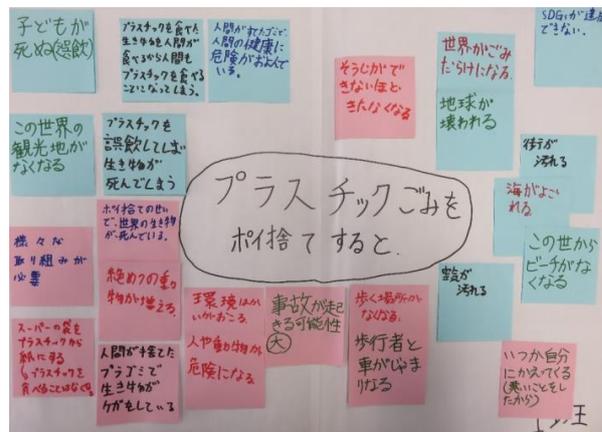


**生徒の学びや変容（振り返りより）**

- ・ 165か国中1位でもまだ達成できていない目標がたくさんあって驚いた。
- ・ 世界では各場所によって、抱えている課題や達成している数などが全然違う。
- ・ 日本は住みやすいと思うけれど、達成できていない目標がたくさんある。その中でも、特に13～15の目標が達成できていない。
- ・ 日本は環境的に見たらまだまだ課題があるので、環境問題に取り組むべき。

**【第2時（プラスチックごみの問題って?）】**

**プラスチックごみをポイ捨てすると…〔派生図〕**



JICA 映像資料  
「海をわたるプラスチックごみ」



→見る前：水色の付箋  
→見た後：ピンクの付箋

**海洋汚染が広がることで困ること〔リスト〕**

- ・ 海の生きものが減る。
- ・ 新鮮な魚が食べられなくなる。
- ・ 海の生きものがプラスチックごみを誤飲してしまい、苦しい思いをする。
- ・ ビーチに行く人がいなくなるため、経済が回らなくなる。
- ・ 海や浜辺、町にごみがあふれることで、空気も汚れる。

**生徒の学びや変容（振り返りより）**

- ・ 人間の勝手に自然を破壊するのはいけない。プラスチックはすごく便利でいいものだが、使用する量や頻度を変えなければいけないと思った。
- ・ 知らない間に、マイクロプラスチックを食べているかもしれないと考えたらゾッとした。
- ・ 海が汚れると、巡り巡って人に影響が出てくるのが分かった。
- ・ プラスチックを捨てるだけで、いろいろな問題が起これると思った。プラスチックをあまり使わないようにするために、スーパーの袋をもらわないようにするなどの工夫をしようと思った。

**【第5時（海を守るために自分にできる SDGs）】**

**海を守るためにできること【行動計画づくり】**

- 国・企業のできること
  - ・ 大学などと協力をして、ごみを少なくする新素材の開発をする。
  - ・ テレビでごみ拾いの番組をする。
  - ・ SDGs に関する法律を作る。
- 仲間とできること
  - ・ 海岸のごみ拾いなどのボランティアに参加する。
  - ・ ごみを捨てないようにポスターを作る。
  - ・ ごみ箱に 3R を意識することができる紙を貼る。
  - ・ 海のごみを拾って、使える他のものに変える。
- 自分にできること
  - ・ みんなが楽しくごみ拾いをできるゲームを考える。
  - ・ リサイクルできるもので作られている商品を買う。

**海を守るために自分にできること（ロイロノートより）**

The infographics are arranged in a 2x2 grid:

- Top Left:** SDG 12 (Responsible Consumption and Production). Title: 私にできるSDGs. Content:
  - ・ 不要になった物はフリマアプリなどに出品する
  - ・ 服などのボタンが取れたときは捨てる前に修正できるかどうかを考える
  - ・ 何か買うときは本当に必要なのかを考えてから買うようにする
- Top Right:** SDG 7 (Affordable and Clean Energy). Title: 私にできるSDGs. Content:
  - ・ 電気をこまめに消す
  - ・ 昼は太陽の光を使う
- Bottom Left:** SDGs 14 (Life Below Water), 15 (Life on Land), and 13 (Climate Action). Title: 私にできるSDGs. Content:
  - ・ リサイクルされた布で作られた服を使う。
  - ・ ゴミ拾いに参加する。
- Bottom Right:** SDG 12 (Responsible Consumption and Production). Title: 私にできるSDGs. Content:
  - ・ リサイクルをする ⇒ ゴミを分別する
  - ・ 無駄に買わない
  - ・ 使い捨てをあまり使わない

**【参考資料】**

- ・ JICA 資料「国際理解教育実践資料集」
- ・ Sustainable Development Report 2021
- ・ 愛知県国際交流協会「わたしたちの地球と未来『フィンランド』・『ルワンダ』」
- ・ 株式会社 明治「明治の食育『比べてみよう！世界の食と文化』」  
<https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/worldculture/finland/>
- ・ JICA 映像資料「ルワンダってどんな国？」
- ・ 農林水産省「和食—日本人の伝統的な食文化」  
[https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/pdf/guide\\_all.pdf](https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/pdf/guide_all.pdf)
- ・ 文化庁「日本の伝統文化を未来へ伝える。」  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/shuppanbutsu/bunkazai\\_pamphlet/pdf/pamphlet\\_ja\\_13.pdf](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/shuppanbutsu/bunkazai_pamphlet/pdf/pamphlet_ja_13.pdf)
- ・ 東京の観光公式サイト GO TOKYO  
<https://www.gotokyo.org/jp/index.html>
- ・ 講談社「FRaU SDGs MOOK OCEA 海に願いを。」
- ・ 実業之日本社「絶滅危惧種 救出裁判ファイル」
- ・ 河出版書房新社「滅びゆく動物図鑑 絶滅から救え！日本の動物園&水族館」

### 第3時

互いに暮らしやすい  
世界にするために①

次の写真の

共通していることは何？



オサガメ



ホッキョクグマ



ファンボルトペンギン



ラッコ





ジンベエザメ



サンゴ



共通していることは何？

絶滅危惧種

絶滅危惧種とは…



絶滅が心配されている

生きもののこと

※現在、過去最悪のスピードで絶滅が加速している。

絶滅危惧種は  
どのくらいいる？

ほ乳類は およそ  種に1種

両生類は およそ  種に1種

※1年間に4万種もの生きものが絶滅している！

絶滅の原因は何？

1. 環境破壊
2. 乱獲 (らんかく)
3. 外来種の持ち込み



## 環境破壊

- 道路やダムの開発による破壊
- 工業廃水や生活排水などの
- 水質汚染
- 排気ガスなどによる大気汚染
- 地球の気温や海水の温度が上がる地球温暖化

## 乱獲 (らんかく)

- 無計画に野生動物を捕まえたり、植物を採ったりしてしまうこと。

(例) 高い値段で取引される  
トラの毛皮  
食用として捕まえらる  
スッポン

## 外来種の持ち込み

- 外来種とは、もともと違う地域や国に生息していたのに、人間の手によって別の地域に入り込んでしまった生きもののこと。  
→ 外来種が日本の希少種をおそうなどの問題

## めあて

海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためには、どうするとよいのかを考えよう。



## ロールプレイの準備

- ① 役割を決める。  
★海の生きもの2人  
★人間2人  
★司会・記録1~2人
- ② 自分の役割のはじめの一言をまとめる。
- ③ 相手に聞きたいことなどを書き出す。



## ロールプレイの流れ

海の生きもののはじめの一言

人間のはじめの一言

互いに暮らしやすい世界にするための話し合い

## オサガメと人間が暮らしやすい世界にするために…

組 番 名前【 】

### オサガメが困っていること

- 人間は魚と一緒に、無関係のオサガメの命まで網あみにかけて命をうばうことがある。
- 人間がたくさんのごみを海に捨てるので、オサガメの主食であるクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまう。
- 開発のためという理由で、海だけでなく、産卵のための砂浜もうばわれている。
- オサガメが産んだ卵を野生化した動物が掘り返して食べてしまう。

### オサガメからの一言



### 【ロールプレイに向けて】

相手に聞きたいこと、相手に聞かれると思うことの答えなどの準備をしましょう。




## オサガメと人間が暮らしやすい世界にするために…

組 番 名前【 】

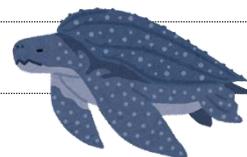
### オサガメが困っていること

- 人間は魚と一緒に、無関係のオサガメの命まで網<sup>あみ</sup>にかけて命をうばうことがある。
- 人間がたくさんのごみを海に捨てるので、オサガメの主食であるクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまう。
- 開発のためという理由で、海だけでなく、産卵のための砂浜もうばわれている。
- オサガメが産んだ卵を野生化した動物が掘り返して食べてしまう。

### 【ロールプレイに向けて】

話し合いが進まない時のために、オサガメと人間に聞きたいことなどの準備をしましょう。

#### オサガメ



#### 人間



### 【ロールプレイのメモ】

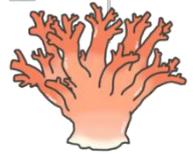
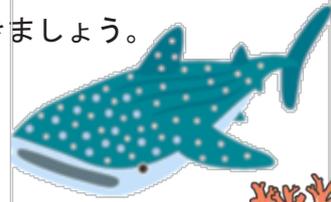
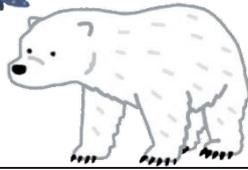
海との共存～海の生きものたちを絶滅の危機から救え！～

互いに暮らしやすい世界にするために

組 番 名 前

月 日 ( )

★ ロールプレイをして、分かったことや感じたことなどを書きましょう。



自分の役割について


自分の役割以外について




月 日 ( )

★ 他のグループのロールプレイの様子や「〇〇と人間の仲よし大作戦！」を聞いたりして、分かったことや感じたことなどを書きましょう。




## めあて

海の生きものと人間が互いに暮らしやすい世界にするためには、  
 どうするとよいのかを考えよう。



## 前回のふり返り



特に印象に残っていることを  
 一つ選ぶ



グループの中で共有



全体で共有

## 海の生きもののために私たち人間にできること

「〇〇と人間の仲よし大作戦！」

1  
2  
3  
4  
5

互いに暮らしやすい世界  
 にするために、私たち人  
 間にできることを5つま  
 とめましょう。



## ラッコ



- 毛皮を目的とした乱獲
- 石油の流出等で体内に油が吸収されたり、体温を保てなくなったりする
- 環境汚染や生態系の乱れ  
 →エサ不足

## サンゴ



- 地球温暖化による水面や水温の上昇→個体数が減る
- 気候変動や異常気象  
 →サンゴが根元から折れる
- サンゴは天敵から身を隠すための場所→海の生きものが生きられない=海の生態系の乱れ

## ホッキョクグマ



- 地球温暖化  
→2030年代には北極の氷が消滅
- 世界中から有害物質やプラスチックごみが集まる
- エサの減少  
→ホッキョクグマの減少

## ジンベエザメ



- 高級食材や健康食品のための乱獲
- 地球温暖化や環境汚染  
→エサの減少  
海の生態系の乱れ
- 船との衝突  
→ケガ、命を落とす

## フンボルトペンギン



- 地球温暖化  
→住む場所や食べ物がない
- 巣づくりに使う地層（グアノ）  
→肥料の原料になるため、掘りつくされる
- 人間の漁→エサの減少

## オサガメ



- 漁の時に網にかけられ命を落とす。
- 海のごみ→ビニール袋とクラゲを間違えて食べてしまう。
- 開発→産卵の砂浜が減少
- 野生化した動物が卵を掘り返して食べる